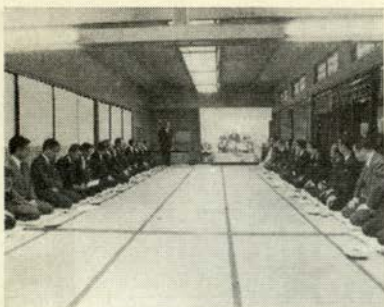


★神戸の集いから

■故井植歳男会長を偲ぶ会

神戸経済界の推進役として大きな活躍が期待され、七月十六日に惜しまれて死去した三洋電機の故井植歳男会長を偲ぶ会が、大阪井植会長を囲む会、神戸井植学校の主催で、八月二十一日、花隈富貴楼において行なわれた。

佐治敏三（サントリー社長）牛尾吉郎（ウシオ工業社長）両氏の開会の言葉のあと、砂田重民（自治政務次官）金井元彦（兵庫県知事）原口忠次郎（神戸市長）立花大亀（徳禅寺官長）氏らが故人の業績をたたえ、その死を惜しんだ。故人の実弟である三洋電機井植祐郎社長の謝辞で閉会となった。



■神戸光風会二十周年を祝う

美術団体の支部的存在としては県下最大のグループである神戸光風会の二十周年記念パーティが、八月二十四日、オリエンタルホテルで、鬼頭鍋三郎、田村一男氏ら本部の主要メンバーを迎えて行なわれた。

海の女王からの花束贈呈、甲南女子大コーラス愛好グループの合唱、創立当初からの功労者久本弘一氏の表彰など花やかなプログラムであったが、本部会員や来賓諸氏から二十周年の年輪におぼれず今後、励んでほしい、との耳の痛い祝辞の連続する有意義な記念式典だった。



Chianti corner

★キャンティ

コーナー

ファミリーな店

岡添貞撫（岡添真珠商会）



「神君とはブルーリボン時代からの付き合いでね、家内も子供達も、家族ぐるみで飲みにくるんですよ。こんなことは神戸でないとムリでしょう。神君がとにかく客の立場に立って考えてく



れる姿勢が人を魅きつけ、長続きするんですよ。ぼくがいなくても家内は子供づれで安心して遊びにこれるといってね。そうそう、ぼくがイタリーへ行った時、愛の泉の前で、キャンティをボンと開けてこの店のことを思いだして飲みましたからね」

洋酒の店キャンティ

Chianti*

櫛 晴 夫

神戸・生田区北長狭通二三
TEL 八三九 3006

CINEMA

真夜中の
カーボーイ



映画評論家

淀川長治

<43>

一瞬のシーンに映画は小説の数頁以上の描写を見せる。
「真夜中のカーボーイ」は「卒業」に主演したダスティン・ホフマンと新人のジョン・ボイト……この二人の男の映画である。

身寄りのないテキサスのレストランの皿洗いジョーは週刊誌などを読んで、ニューヨークの女が男買いをするのを知った。教育も金もないこの若者に自信のあるのは自分の肉体とセックスだけだった。そこで粋な牧童服を着こんでテキサスから、金を一仙でもしまつしようとバスでニューヨークへ。

二日ほどして、やっと中年女が引っかった。豪華なアパートと白い小犬と派手な鏡台と香水。お役目が終わってジョーは思いきって金がほしいと申し出た。ところがとたんに女は怒り出し、貰いたいのはこつちだとおどされて、けっきょくジョーは二十ドルもふんだくられたやがて金が残りに少なくなり、ホテルも追い出され、しょげきって喫茶店にはいつてきた。裏街の汚いコーヒー店だった。

そこで小男のラッツォ（ネズミ野郎）というピッコ男に、男がセックスを売るのはマネージャーが必要だと教えられ、二十ドルふんだくられた。しかしそれがまんまとベテンに引っかったことをあとで知った。ジョーは、もはやニューヨークのルンペンだ。腹がすぐ宿もない。ふらふら歩いて汚いコーヒー店を覗いた。するとあの忘れもできないピッコ男を見つけたのだった。とびこんで殴りつけようとした。ピッコ男はあわてて両ポケットからありったけの金を出した。しかしそれは小銭ばかりで十五仙。

「ウン」「あたし今どこにいるかわかる」「？」「ベッドの上よ」「もう寝るのかい」「あたし、どんな格好か……わかる」「？」「全裸よ」「へえ」それで、それ以上、二人の会話はつづかなくて電話を妻は切った。妻は全裸ではなくキチンと服を着て電話をかけていたのである。妻の孤独感と、安心しきった良人の、それも言葉を知らぬカー・レーサーというスポーツ・マンの健康。

毎日一本平均に映画を見ていて、それでも飽きないでキキとして喜んでゐるのは、その一本にどこか面白い発見のあることと、やっぱり年ごとに月ごとに映画がその描き方に進歩を見せているからである。

シネラマの「レーサー」というレース・ドライバークラス（ポール・ニューマンとジョアン・ウッドワード）の映画を見てみると、レースのため地方に出たっきりの良人に妻が長距離電話を自宅からかける。「あなた元気」

ピッコ男はゼンソク病みのようにセキこみながら、ジョーを自宅に連れ込んだ。しかしそれは崩れかけた長屋の空き家の穴ぐらの一室。電気もない。ローソクに灯をつけて、道路で拾い集めたタバコの喫い残しを出してすすめる。ラッツォ……ねずみ……その名のとおり的小男しかし彼は本当はエンリコ・サルバトーレ・リッツォと

いうれつきとした名をもったイタリア移民。せめてリコと呼んでくれとジョーにせがむ。この男の夢は暖かいフロリダで暮らすことだった。

人のいいジョーは、このビッコ男が憎めなくなった。二人で屋台店の食物をかつぱったりしたが、その日ぐらしの飢えは苦しい。そのうえビッコ男の病気はつめるばかり。

ジョーは考えこんだ。マンハッタンで男が金にありつけるのは、ホモを相手にするより仕方がない。ジョーはそこで映画館で学生のお相手をした。しかし、その学生は便所の中でジョーが金を出せと言ったときカンペンしてくれと泣き出して、腹立ちまぎれに腕時計を掴み取ったが、そんな自分が悲しくなって、それをやっぱり返してやって、けっきょく一文にもならなかった。その晩、ジョーは自分の血を病院で売ってビッコ男に食い物を持って帰った。しかしビッコ男の病気は重くなる一方。思いあまって病院行きを進めたが金が心配だ、死ぬほうが



レ - サ -



真夜中のカーボーイ

いいと涙をあふらせた。

ジョーはまた辻に立った。こんどは会社の重役らしい男に誘われた。ホテルでコトが終わった。ジョーは二十ドルを請求した。客は十ドルで我慢してくれと泣き顔で財布から金を出した。その財布の中の札をチラと見たジョー。思わずジョーは相手を殴って殴って顔から鼻から血を流すその男から財布を掴み取って逃げた。

帰ると汗を流してビッコ男が高熱で苦しんでいる。死ぬかもしれない。ジョーはこの男をフロリダへバスで無理にでも連れて行く決心をする。

このビッコ男をダスティン・ホフマンが凄惨に演じて見せた。監督は「ダーリング」「はるか群衆を離れて」のジョン・シュレシンガー。彼のアメリカの第一回作品である。

喜劇「おかしな二人」とちがって、ここにはマンハッタン裏のくさったゴミだめ、その向こうに生きようとする若者二人の友愛が、孤独感のなかで痛ましい必死の愛を見せる。

かくや姫

しりいす・こかんくす
かんづめをあけろ
2004 古典より
おかだのじゅんまろ

今は昔
かんづめ屋に
さびしげの店員ありけり



店の片隅に光れる
不思議のかんづめなむ
ひとつみつけたる



胸さわぎつつ
そっと開けたれば
中より
いと美しき娘
あらわれいでたり



思わずその手を
握りしめなごして

かわす瞳に
瞳をうつしぬ



さびしげの店員
娘に心奪われ
日毎夜毎遊びに興ず



されど娘の
月夜に涙流すことこそ
不思議なれ



満月の夜
月より
迎えのものども
来しとか...



今はちょっと昔

かんづめ屋に

さびしげの店員ありけりとぞ云ふ...



動物園飼育日記——41——亀井一成

悲運ロッキを想う



母マミーのそばを離れないロック（生後3カ月）

二年前になろうか、年の始め、すなわち、昭和四十三年一月。クロサイ一家にハデな大立回りの事故が起った。実父トミー（11才）と体格は成獣の1/2少年期（2才）の次男坊ロックである。

しかし、野生を知らない神戸生まれのロックは、父親トミーの攻撃が本気だとはどうしても思えなかったのだらう。実母マミーのいた頃、よく角つき合せのトレーニングをやってくれた。その父親の行為としか思えなかったのだ。

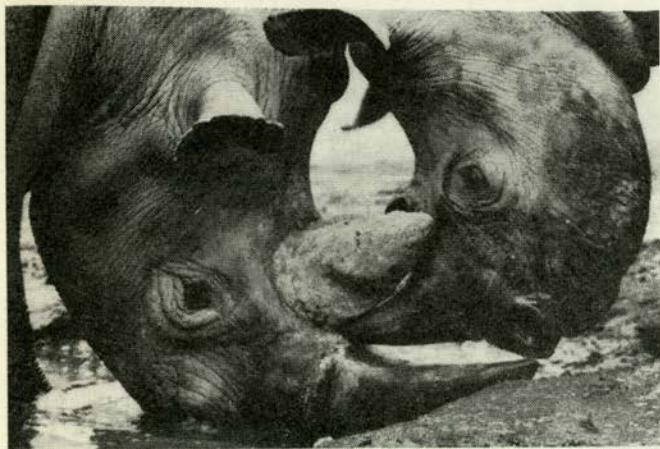
しかし、眼は血走り、鼻息き荒々しく、狂ったようにうなり声をあげ、まっこうから突進してはロックを一撃する。あとずさりして気を休める間もなく、さらに突進して逃げまどうロックを追いたてた。

あの厚そうに見える皮膚はまるで見せかけばかり、ロックの体は、あちこち皮膚が破れ、出血しはじめたのだ。

逃げ腰のロックは、たえかねて、同居のメス親にすがり寄ろうとしたが、かえって父親の興奮をたかめ、ものすごい必殺の一撃をロックにあびせてきた。父親の塊と小さいロックは力尽きその攻撃をかむことができず、ふっとんだ。ロックは哀れにも外堀にまっ逆さま落ちこんだまま、ぐったりと動かなくなつた。

「サイが掘に落ちこみ倒れている／＼」その知らせを受けて三日。そのロックは、隔離された室内であえなく他界してしまつたのである。

これは、人間界にも多くある



三角関係のもつれからの事故であつたと知れば、あまりにも動物的なできごとだつたことに、防ぎようがなかったのか／＼と自戒の念に心痛でならない。

すなわち、父トミー母マミー、が同居して四年目、昭和三十八年十一月十六日。日本では初めてという長男ボビーが生まれた。そしてさらに昭和四十年十一月二日、次男ロックまで誕生したことに大変な祝電が舞いこんだ。東京上野と多摩、名古屋といわず日本各地の動物園では、オスメスの同居すらむづかしく、サイの大立回りに泣かされどしだつた。その折も折。神戸で次々と二頭の仔が生まれ育つたからだ。

しかしながら思わぬ事故は、ふとしたことが要因となり、どこまでも不運を重ねる。

母のいなくなったあと、よくかはつてくれた父トミー（左）とロック

二頭のサイ誕生に沸いたのもつたかの間のできごとであつた。

昭和四十一年十二月一日、次男ロックをもうけた翌年越冬中のさなか母親マミーが倒れた。

重苦しい病魔は、性格を変え、時折り荒れ狂うように動き回つたが、発病三日目力なくすわりはじめた。エサも水も全くうけつけない。

ずっと寄り添って離れない二男坊ロックもけんめいに母親をゆり起そうとちっこい角で何度も突きあげようとした。私たち、徹夜の看病もむなしかった。マミーはまだ乳房のこいしいロックを残したまま、悲しく逝つてしまつたのだ。

そしてロックは、時折り乳房の臭う実母マミーを思い浮べたこともあったらう、父親トミーを母として寄り添い慕いとうして育つたのである。

父親もまた、長男ボビーを名古屋動

物園へ送り、妻にまで先立たれた淋しさに、よく残されたロックをかばい毎日のように運動場をかけ回り体力づくりの角つき合せトレニングや、泥浴を教え餌も分けあってすごした。

ロックはいつまでも変わることのないこの父親の愛を一身に受けながら育っていたのである。

しかし、過ぎる歳月は容赦なく運命を与える。

ある日突然。トミーとロックの前に、メスサイ一頭が檻にゆられやってきたのだ。

母との再会の想いにか
け寄ったロックは、やはり母マミーでなかったことに悲しみ、うなだれるようにその檻のそばから遠ざかった。

妻でなく新しいメスサイであることを知ったオス親トミーは鼻をつき合わせるように近づいては「カチン」とすげなく角で突きかわしロックのそばにかけ戻った。

生活行動圏をナワバリとしているサイは、メスといえども他の個体を入れぬという性質が強いからだ。

そこをとりもつ仲人役の飼育者は格子越しのお見合いとごちそう攻めでさしものトミーも、新しいメスもが折合よく同居するまでになったのは入



父トミー（左）母マミーと幸せだったロック（中央）

園後一カ月目のことである。

私たちも園長もが先代マミーの死後僅か六カ月たらずして二代目マミーとトミーとが結ばれたことに、至難といわれるサイの飼育に強い自信がひらめいたことは隠せない事実だった。

しかし、そこに残されたロックの悲運が秘められていたのである。

二代目マミー到着後七カ月、結ばれた、トミーは、もはや一頭のオスサイではない。ロックは、うらぎられながら実父の激しい角をかわし続け、力尽きたのである。

その二代目マミーが昭和四十四年九月八日また同じ飼育場で、新しい生命を生んだサイの出産は今なお神戸だけであり、したがって日本初のボビー、二番目のロックに続いて日本では三番目の誕生である。

ああ、私は折りたいオリの中の彼等の運命を――。

△王子動物園飼育係写真も▽

こんにちは赤ちゃん



芦屋市 土生敬士ちゃん
完全看護★冷房完備★病院前駐車可能

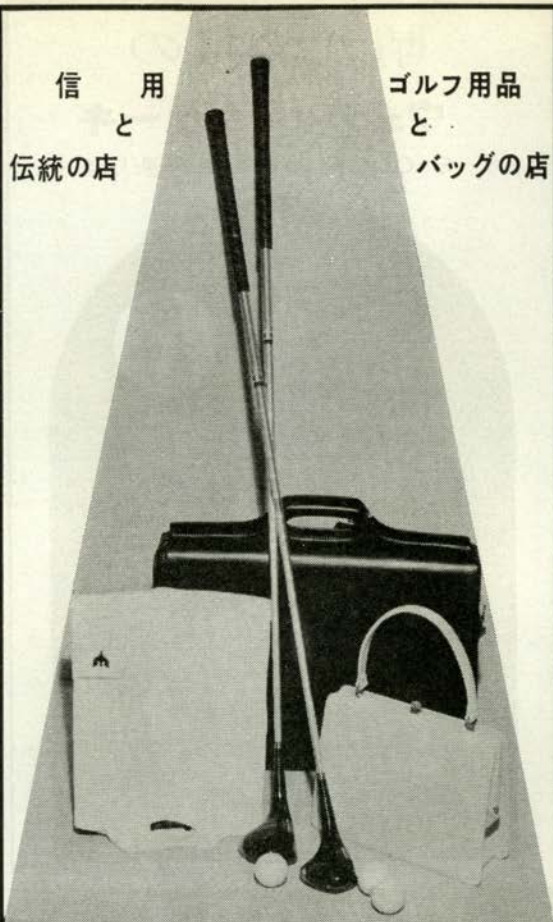
芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大槻町 9 番地
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

信用
と
伝統の店

ゴルフ用品
と
バッグの店



田 タカハシ

神戸・元町 3 丁目 TEL 33-1172・7782

晴れの日の ウェディングケーキ

6,000円よりご用命承ります

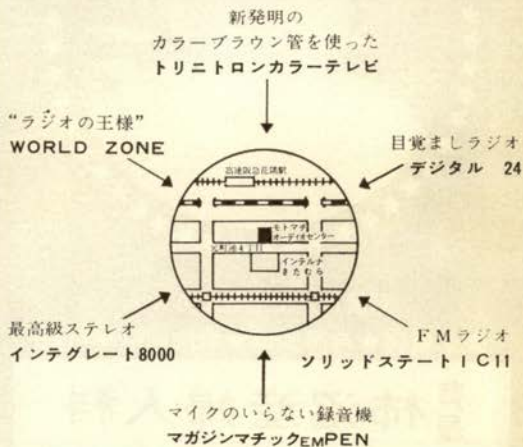


北欧の銘菓 ユーハイム・コンフェクト

本 社 ・ 工 場 神戸市東灘区西宮町1 (市立美術館東隣) TEL22-1164・9865
三宮センター店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL33-2421・4314
生 田 店 神戸三宮生田筋(阪上喫茶室) TEL33-0156・7343
さんちか 店 神戸三宮地下街スイーツタウン TEL39-3558

SONY®

専門店誕生



- ★あなたのSONYプランはおまかせ下さい。
- ★あなた自身で操作してみてください。
- ★SONY製品の修理承ります。

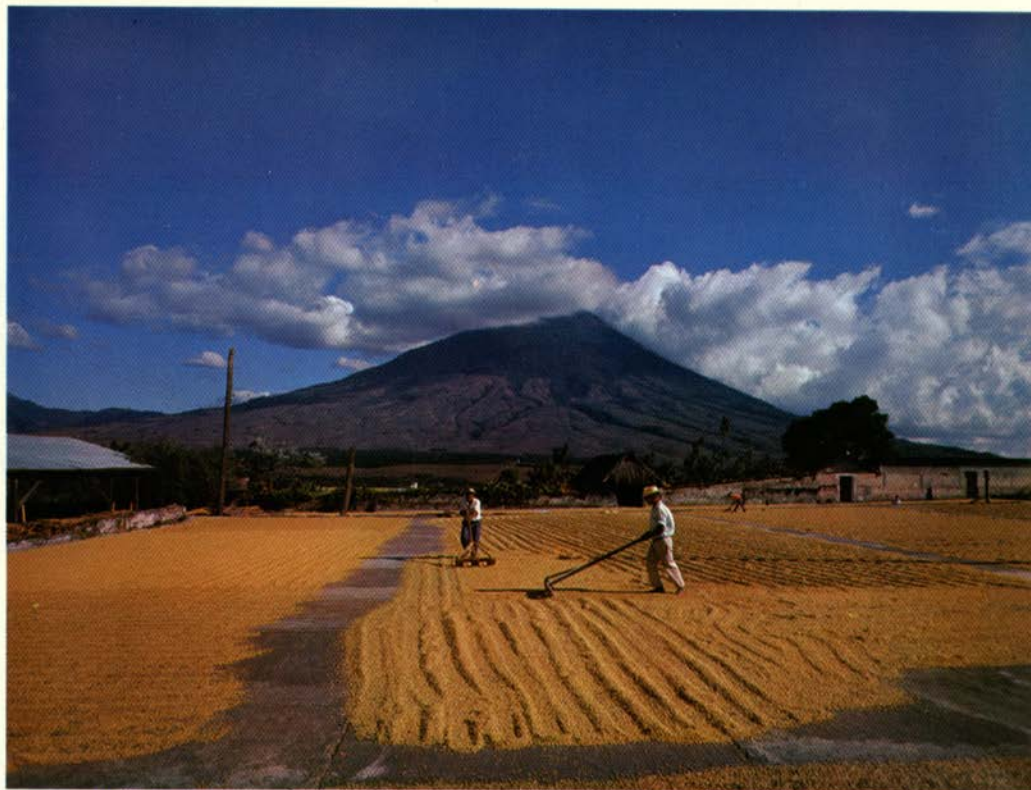
M A C

motomachi audio center

元町オーディオセンター

元町4丁目96 神戸(35)1865

UCC・グアテマラコーヒーの
総発売元としてスタート!



★世界のCOFFEEを飲もう! **UCC**
UESHIMA COFFEE COMPANY コーヒー

- グアテマラ・コーヒーは、中米マイルドの代表的なコーヒー豆で、良好な酸味が味わえます。ぜひご賞味ください。

UCC 上島コーヒーショップ

さんちかメンズタウン TEL 39-567

UCC 上島珈琲本社直営

神戸駅前 TEL 34-3606~9



* 今月の店舗

喫茶 8 番

生田区中山手1丁目



舶来ムード  照明の店

モトデン

本社★神戸市生田区元町 6 丁目 2634 4196
工場★神戸市灘合区琴緒町 1 ノ 10 22 8947

光のパイオニア

企画から開店まで
アイデアの

神戸日建

建築設計施工 店舗改造
神戸市生田区中山手通 3 丁目
PHONE 22-7172・6052

**KOBE
NIKKEN**



人間性の回復と都市計画

小野原哲次

〈神戸日建社長〉

総括的にヨーロッパを見て廻って感じたことだが、どの国においても芸術を愛し、文化を愛し、何よりも自然を愛しているということ、特に北欧の由緒ある街、コペンハーゲン、アムステルダム、の街角で、その印象を深めたものだった。

新しい都市づくりも大いに結構だが、これからの歴史における街の将来を考えた場合、神戸においても、もつと芸術家や文化人が自分たちの街を芸術的、文化的センスで観察するだけでなく、現実の都市計画に参加し、本当に人間の住む街をつくらなければいけないのではないだろうか。

もうすでに、我々人間は巨大な鉄とコンクリートの機構の中のロボットにされつつある。これは、役所まかせの都市計画、人間性、人間味にかける行政自体の冷酷さと、そこに働く指導者自体にも原因があるようだ。

例えば、あの街の美観を損うことが分りきっている高速道路。街は住民の共通のものであり、そこにおける居住は少なくとも平等でなければならぬが、あの高速道路による日陰を強いられれた居住者も、やはり屈辱をうけて営々と生き続けねばならない。理由があるからこそその都市計画だろうが、大切なのは人間性から出てくる理由でなければならぬ。そのための努力が重要なのではないか。

ショッピングにおいても、パークタウンにせよ、神戸デパートにせよ、コンパクトに機能的であればそれだけで目的がはたせているものでもない。

「雨が降っても買えるものができる」が現代文明の人間の知恵であるなら、そこで人間性を回復するために、「雨が降ったら傘をさして買えるものをしよう」と訴えたい。そんなゆとりが人間にほしいものだ。そんな街に神戸をしたいものだ。アーケードをなくし、電柱をとり、そこに緑を植える。花を殖やす。

経済成長の姿に押し流されてはだめだ。もつと大きな目を開いてこの一瞬の都市づくりに歴史を賭けて努力をはらわねば、将来に大きな汚点を残すことになるだろう。

美しさを創るオートクチュール
エステーニエートン

神戸アロード TEL 1858
大阪阪神 TEL 1201

<861> <33>
1858
1201

「8の会」交歓スケッチ



左竹中郁・右加藤唐九郎氏

やめられなくなつた

「8の会」

藤本 義一

「8の会」も今年で7回目。8月23日、土曜の夕刻、小原流家元会館のあの豪壮な庭園に280人が集まつた。

昨年この会に出席し、そののち亡くなられた吉沢独陽、木下繁、中村真、玉井保のみなさんはじめ、鍋井克之さんなどこの一年の物語者の霊に黙祷を捧げてから、会は例によって竹中郁さんの軽妙な司会で進行。今年の遠米客は、名古屋から陶芸家の加藤唐九郎さんである。昨年は東京から田中薫さんが参加されたものだった。さて当日の出席者のなかからいま思い出されるかたのお名前を



P 61 右上は、小磯良平夫妻と話す竹中郁氏 / 右中は左より足立巻一・港野喜代子・米田透・津高和一氏 右下右は小野十三郎氏 / 上中は左より中辻悦子・吉原治良・元永定正・西岡れい子 / 上左は小原豊雲氏



あげてみると、画壇では、小磯良平さんと新制作のみなさん、吉原治良さんと具体美術のみなさんをはじめ、早川良雄、伊藤慶之助、津高和一、沢宏毅さんなどに評論の村松寛、藤井源一、赤根和生、竹田洋太郎の諸氏。新聞人で天羽徳之助、小倉敬二、篠崎昌美、妹尾太郎、中西靖忠、小野富次、改田博三さんなど。文芸では白川渥、陳舜臣、武田芳一、黒部亨、小久保実、吉田留三郎、小野十三郎、小林武雄、足立巻一、岸本通夫、平田春一、岡田真、倉橋弘躬、磯江朝子、増井不二也さん。評論や郷土史で荒尾親成、牧村史陽、北岸佑吉さん。楽壇をみると吉村一夫、小橋潔、竹本義弘、北野健次さん。写真はハナヤ勤兵衛、藤田重夫、それに書家の出口草露、演劇畑で中西武夫、阿木五郎さん。服飾界では例によってドレメ系はじめ市内各校の院長女史が顔をそろえ、電通万博室長の大鋸時生さん。大学教授では一昨年の矢内原伊作さん、昨年の奈良本辰也さんなどにつづいて今年は大阪市大の朝山新一さん。変りだねではインブンP、Mでカセム・アリをおつとめの田中四郎さん、となると、こ



右上は左より黒部亭・陳舜臣・馬部貴司男／左上は左より
占部六郎・丸本耕・伊藤悦子・藤本義一・山田芳信・谷口
和一・西村功／左中上、大野己喜男・吉見敏治・鈴木福男
斉藤広司・永橋正次・池上政子／左中下、中央、阿木五郎
上西良一／左下は上前智祐・白髪一雄・山崎つる子・ヨシ
ダミノル各氏



の番組に立ち向かう夜の番組のホスト上杉典子さんをあ
げるべきだし、かつて「イットーショー」と川上のほ
るの腹話術をおりませたハリス・クイズの司会で人気を
集めた泉田行夫さんも欠かせない。そしてこの庭のある
じ小原豊雲さんという次第。

毎年顔を見せてくださる朝比奈隆、大久保恒次、笹田
和子、寿岳文章、田邊聖子、中山文甫、初井しづ枝、福
富芳美、依田義賢の諸氏などが今年おいでいただけなか
ったのは、会の日のご連絡がおくれたので、スケジュー
ルの調節がつかなかったためだろうと、責任を感じしてい
る。私はもちろん、東京から皆勤である。

(サントリー宣伝部コピーライター)

高級お仕立て・プレタポルテ
舶来生地・アクセサリー・雑貨

＊ジョリ

カセット

＊神戸・三宮・大丸前・市電筋浜側

TEL 39-4992

＊東京・銀座西7丁目コリドー街

TEL 573-3041-3

＊東京・港区南青山4の1

第二セントラルマンション

TEL 401-0471

＊横浜・横浜駅東口スカイビル2階

TEL 441-1221 内線332



★三年前のこと

初めてヨーロッパへ行った時、雲と水ばかりの北極圏を十七・八時間も飛びつづけ、やっと緑の平原の中に、点々と箱庭のような、おもちゃのような赤いとんがり屋根を見つけた時、ああ、ヨーロッパへ来たのだなと、感無量に思ったものでした。

アムステルダムでも、コペンハーゲンでも必らず、レースのカーテンが細長い窓にひだいっぱいにかかっていましたし、北欧の空気はつめてくて葉巻の匂いが街中に流れ、朝レストランでのだんだスープはバターとミルクの香りがしました。

小さい時に見たことのあるような、記憶の中にある絵にそっくりなそんな風景の中で、ジョリカセットはこれからどんなお店にしていこうかと、色々に思いめぐらしておりました。

ジョリカセット店主
杉田みどり

akira october mode



ロマンチック・キュート ————— 西 野 明

<ヘアーデザイナー>

フロントラインからヘムラインを人形カット風のシルエットデザインでキュートな表情をつくりました。モデル/江沢田鶴子<K・F・G>

beauty salon

blue akira

西野 明

神戸市生田区北野町3丁目65ノ3

TEL (078) 22—9080

★A.M. 9:00 ~ P.M. 7:00迄

rose

西野笑子

akira

神戸市生田区三

宮町2丁目35

TEL (078) 33—4461

★A.M. 10:00 ~ P.M. 8:00迄



ブルーあきら

いりや

中山手カソリック教会

国鉄三の宮

阪急三の宮

センター街

国際会館

三宮本通

ローズあきら

モードの秋 9月に

服飾デザイナーへの夢を育てる

オートクチュールのアトリエ戸塚を

オープンいたしました。

あなたのワードローブをお創りします。

アトリエ 戸塚

神戸市葺合区布引町 4丁目 1ノ39
谷川ビル 2F TEL 24-5660

戸塚敏衣服研究所

<公認・伊東連盟校>

■ 入学期

10月・4月

洋裁本科★高等科★研究科

男子科★手芸科

神戸新聞会館東隣り 三栄ビル 4階
TEL22-6268



アトリエ 戸塚 <谷川ビル1F>



戸塚敏衣服研究所
<三栄ビル 4F>

パリの香りを
セリザワがアレンジして贈る!!
ひめやかな秋を彩どる
ファッションブラン
神戸の秋に
いっそうひきたちます……

Serizawa
* 婦人服飾・紳士服飾 *
セリザワ

*

神戸・大丸前 / 33-1695
神戸・大丸前 / 33-3900
三宮センター街 / 39-4624
さんちかタウン / 39-4626
東京・東急百貨店 / 211-0511
日本橋店
東急百貨店・渋谷店 / 462-3369
京都・藤井大丸 / 221-8181
姫路・やまとやしき / 23-1221



スイス・バリーシューズ
イタリアのジョンアントニオ
フランスのエルメスなど
クロスの豊富な秋冬の
コレクションが
揃いました。



靴と舶来雑貨

クロス

神戸トア・ロード TEL 09-1781(代)三宮地下街(さんちかレディスタウン) TEL 39-2562

大阪阪神百貨店 TEL 361-1201 京都丸物百貨店 TEL 361-1111

'69 '70 毛皮コレクション

★今年のヨーロッパの毛皮モードは、若い人たちが向きの多彩なものに重点がおかれました。
★日本でも、もう毛皮はアクセサリとしてではなくハーフコート、ミニコートなど若い人たちの生活のなかにレザーコートなみに気軽に着て楽しむようになりました。
★ベニー毛皮店の専門店の特色を生かして、バラエティ豊富な輸入材料で作る数々のオリジナル製品は昨年に増して皆様さまのご好評を得ることでしょう。



モデル/江沢田鶴子(K・F・G)

品毛皮店
神戸国際会館1階

PHONE (078) 22-3327